愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	総合演習Ⅰ		
担当者(Instructors)	渡辺 弥生	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

総合演習Ⅰでは、保健や看護など健康に関する具体的なセルフケアについての知識と技術を深める。現代の健康は自分自身で守っていく必要がある。ヘルスプロモーション、セルフケアの知識や技術が重要である。そのため自分自身、子どもに対しての健康対策、成人、高齢者に対しての健康対策など実際に健康維持のため行うべきケアの知識を得て、具体的に実践する方法を学び、技術の習得を目指す。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	講義、グループワーク，デイスカッション、フィールドワーク、プレゼンテーション

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス	まずはメンバー間で自己紹介を行いコミュニケーションの重要性を学ぶ。また自分たちがどのような経験がしていきたいのか希望を話し合う。	□
第2回	学びの疑問を検討する①	グループワークにより1年間で健康やセルフケアについて何を学んでいきたいか課題を検討する	□
第3回	学びの疑問を検討する②	グループワークにより1年間で健康やセルフケアについて何を学んでいきたいか課題を検討する	□
第4回	高齢者の健康問題の検討	第5回目に外部講師による認知症の基本知識と対応について講義やロールプレイングを行うため基礎知識を調べる。	□
第5回	認知症の理解　外部講師による学び	認知症の基礎知識と対応の在り方を外部講師より学ぶ。	□
第6回	成人、小児、老年の健康問題について学ぶ。①	グループワークを行う。各期の健康問題に着目し、指導する目的で学びの項目を検討し、指導案を考える。	□
第7回	成人、小児、老年の健康問題について学ぶ。②	グループワークを行う。各期の健康問題に着目し、指導する目的で学びの項目を検討し、指導案を考える。	□
第8回	各グループで決めた項目の指導内容を他グループメンバーに行ってみる。①	例　認知症高齢者の家族に対しコミュニケーション方法を伝える。	□
第9回	各グループで決めた項目の指導内容を他グループメンバーに行ってみる。②	例　メタボリックシンドロームの方への食事指導又は運動指導を伝える。	□
第10回	各グループで決めた項目の指導内容を他グループメンバーに行ってみる。③	例　育児中の母親に離乳食の進め方について説明する。	□
第11回	指導内容の振り返り	各ライフサイクルの課題を理解し、どんなことが重要か、また受けた方はどうだったのか意見交換する。	□
第12回	今後に向けて課題を見つけ文献を検索し要約し、意見交換する。①	キーワードを自分なりに見つけ文献の検索方法を実施、理解する。	□
第13回	今後に向けて課題を見つけ文献を検索し要約し、意見交換する。②	レポートの書き方を学びながら要約し、重要な点は何か？不足な点は何か？検討する。基本の確認	□
第14回	今後に向けて課題を見つけ文献を検索し要約し、意見交換する。③	重要な文献の要約をし、レポートにする。	□
第15回	総合演習Ⅰのまとめ、総括	文献紹介と 前期の振り返り	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

授業前には、1週前に出されたテーマに沿って下調べをしておく。（2時間） 授業内のキーワードに沿って調べたことをまとめておく。次週発言や質問ができるようにする。（2時間）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題は発表後ディスカッションを通してフィードバックする。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	各ライフサイクル別のセルフケアについて異議、内容を理解する。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	さまざまなケア高齢者や小児に対しては直接的なケアも考え、必要性を判断し実施する。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	問題解決のため、話し合い、発表しあい、意見交換を行っていくため自ら考え行動し、主体的に取り組むよう勧めていく。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業への参加姿勢（積極性、発言、協力）発表の内容、方法、レポート等

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	適宜紹介する	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	適宜紹介する	
2		
3		
4		
5		